

原子力本部

安全の確保を最優先に原子力発電を活用



中部電力



浜岡原子力発電所を重要な電源として活用するための準備を進めるとともに、みなさまに丁寧にご説明していきます。

浜岡原子力発電所では、東京電力ホールディングス株式会社・福島第一原子力発電所のような事故を二度と起こさないという固い決意のもと安全性向上対策を進めており、3・4号機については原子力規制委員会が策定した新規制基準への適合性確認審査を受けています。4号機の設備対策の主な工事については概ね完了していますが、今後も、審査対応などにより必要となった追加の設備対策については、可能な限り早期に実施していきます。

また、防災体制の強化や教育・訓練の充実を図るとともに、住民の方の避難を含む緊急時対応の実効性向上に向けて、国・自治体・関係機関・原子力事業者との連携を一層強化しています。加えて、ガバナンスやリスクマネジメントの強化を図るため、社外の有識者や原子力の専門家からのご意見をいただいています。

2020年度から原子力規制委員会により新たな検査制度が導入されたこともふまえて、今後も安全性を自主的により一層高める取り組みを継続的に行い、浜岡原子力発電所を重要な電源として引き続き活用するための準備を進めていきます。

中部電力は、これらの取り組みについて、地域をはじめ社会のみなさまに丁寧にご説明するとともに、不安や疑問にしっかりと向き合うことで、一人でも多くの方にご理解いただけるよう努めていきます。

代表取締役 副社長執行役員 原子力本部長 倉田 千代治

浜岡原子力発電所各号機の現況 2020年7月1日時点

号機 (運転開始)	電気出力	現在の状況
1号機 (1976年3月)	(54万kW)	廃止措置中 周辺設備の解体や原子炉の 除染作業を順次実施 (2009年1月30日 運転終了)
2号機 (1978年11月)	(84万kW)	
3号機 (1987年8月)	110万kW	原子力規制委員会による新規制基準 への適合性確認審査中
4号機 (1993年9月)	113.7万kW	安全性向上対策実施中
5号機 (2005年1月)	138万kW	海水流入事象に対する具体的な 復旧方法を検討中 適合性確認審査の申請準備中 安全性向上対策実施中